

第9回浦河町教育委員会（定例会）会議録

1. 開会日時 令和元年8月28日（水）午後3時00分～午後4時20分
場 所：浦河町役場教育長室
2. 出席者 教育長：浅野 浩 嗣
委 員：小 田 喜代子 委 員：三 好 直 樹
委 員：浦 きぬえ 委 員：石 垣 博 文
3. 出席事務局職員 三浦課長、和田課長、横山給食センター所長、松本課長補佐、
本郷係長、橋指導主事
4. 会議録署名委員 小田委員、石垣委員
5. 行政報告及び行事予定
—事務局から別紙資料により報告—
6. 議 案

議案第17号 浦河町地域の学校教育のあり方を考える会設置要綱制定の件
—事務局から別紙資料により説明—

- ・CS（コミュニティ・スクール）設置に向けて3年前に同じ内容の要綱で会を設置したが、今年の3月末で要綱の効力が無くなったもので、もう一年この会を設置して、来年のCS設置に向けた取り組みを進めていく。
- ・3年前の要綱と中身は同じで、中学校区ごと、荻中、一中、二中の区域3つでCSを作っていきたいと考えている。
- ・委員の部分については、地域の関係者、社会教育関係者、PTA関係者、学校関係者、その他教育長が必要と認める者でお願いし、人数的には10名～15名程度で構成を考えている。

→質疑なし。原案のとおり可決された。

議案第18号 平成31年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

—事務局から別紙資料により説明—

- ・掲載について同意して、レーダーチャート等の状況が公表されるというもの。

→質疑なし。原案のとおり可決された。

議案第19号 令和2年度から使用する義務教育諸学校の教科用図書の採択について

—事務局から別紙資料により説明—

- ・8月に教科書の採択の委員会があり、小学校の教科書を採択した。
- ・採択の進め方については、採択委員会で専門部会、教科の先生、校長先生、教科によっては専門家、学識経験者が入ることもある。
- ・中学校は来年学習指導要領が改定になりまして、教科書採択があるのでそれまでは議案に記載の教科書を使うことになる。
- ・附則第9条については、特別支援教育の場合はそれぞれの子どもに対応した一般の図書200点くらいの中から選定する。

—全委員：採択教科書を閲覧—

→原案のとおり可決された。

4 報 告

○令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について

—事務局から説明—

- ・小学校国語と算数は全国との差が縮まった。
- ・今までの結果を比較すると、昨年からは良くなっている。
- ・中学校の国語は4ポイント全国平均より低いですが、昨年から比べると良くなっている。
- ・中学校数学は昨年から比べると良くなっているが、11ポイント全国平均より低い。基礎の部分の「数と式」、二元一次連立方程式が出来なかった。
- ・英語の「話すこと」は、今回初めてでパソコンの前で質問に答えるというものだったが、自分が答える前に違う人の声が入ったり聞こえたりして正しい調査ができていないため、全体としての数字では出していない。
- ・学習状況調査については、小学校の「朝食を食べている」が全国平均を上回っている。中学校もわずかだが上回っている。浦河町は家庭の中でのしつけがきちんとできているのだと思われる。
- ・「自分には良いところがあると思う」が小学校は全国全道平均より下回った。自尊感情を高めていくようにしていかなければならない。また「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」が低かった。
- ・中学校にいくとこの2項目が全国全道平均より上回る。ここは中学校の先生の頑張りだとおもっている。
- ・中学校で「将来の夢や目標を持っている」が全国平均を下回り全道平均並み。小学校の同じ項目「将来の夢や目標を持っている」は全国、全道平均を上回っている。どういうことかということ夢がなくなっているということ。
- ・「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」が小学校、中学校ともに低い結果となり、今後はチャレンジ精神が大事。

- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」が中学校で全国全道平均を下回っている。
- ・家庭での学習時間では、小学校は全国平均には及びませんが全道平均並みの80分だが、中学校は60分と全国全道平均を大きく下回っている。